



指導を受けながら丁寧に苗を植えていく児童

**おいしいお米に育ちますように**

■田植え体験

坂部小学校では5月30日、学校田で田植え体験が行われ、5年生18人が田植えに挑戦しました。児童たちは、榛原里やまの会メンバーの指導を受けながら、長さ15センチほどに育った苗を1本1本丁寧に植えていきました。今後、PTAのボランティアが田んぼの肥料まきや草取りなどの管理を行い、9月頃の収穫時には児童たちが稲刈りの体験をします。田植え体験をした児童は「楽しい。初めてだったけど上手にできた」と笑顔で話しました。

**見頃を迎えた色とりどりのアジサイ**

■大鐘家あじさい祭り

国指定文化財「大鐘家」に咲く牧之原市の花「アジサイ」が、6月初旬から見頃を迎え、市内外から多くの人を訪れました。別名「花庄屋」と呼ばれる大鐘家の敷地内にはヒメアジサイやベンガクアジサイなど35種類以上、約1万2千株のアジサイが植えられており、毎年5月下旬から7月上旬にかけて、青や紫、白色、ピンクなど色とりどりの花を咲かせます。訪れた人は、さまざまな種類のアジサイを眺めたり、写真を撮るなどして楽しみました。



見頃を迎えた大鐘家のアジサイ

**牧之原中学校の新茶はいかがですか**

■「学園茶」の販売と呈茶サービス

牧之原中学校の3年生20人が5月20日、牧之原サービスエリアで新茶の販売と呈茶サービスを行いました。

販売した新茶は、学校の茶園で手摘みした後、JAハイナンの協力で製茶され、生徒たちが1袋50グラムずつ袋詰めにしたものです。

生徒らは「私たちが作った新茶です」とPRし、用意した200袋は完売。販売を担当した服部諒子さんは「お茶が売れて達成感がある。牧中を知ってもらいたい機会になった」と話しました。



サービスエリア利用者に新茶の販売をする生徒たち



ミニアンを使って心肺蘇生体験をする児童たち

**緊急時は慌てず適切な処置を**

■救急法講座

5月21日、細江小学校で救急法講座が行われ、5年生85人が参加しました。

この講座は、人を助ける方法があることを知り、体験し、いざという時に備えることを目的に行われ、日赤赤十字社静岡支部の指導員による「一次救命処置(BLS)」の説明や「ミニアン(AED学習キット)」を使った心肺蘇生の体験をしました。

参加した児童は「練習用の人形だとカチカチと音が鳴るから良いけど、人間だと音は鳴らないので大変だと思う」と話しました。

広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

情報交流課 ☎0040 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

ズームイン！  
カシャ！！



戦没者へ追悼の言葉を語る市遺族会の原本文隆会長

**平和の大切さを次世代に**

■牧之原市戦没者追悼式・慰霊法要

5月22日、牧之原市戦没者追悼式と慰霊法要がい〜らで行われました。

遺族会をはじめ、多くの関係者の皆さんが、戦没者の御霊を敬い、平和の大切さやありがたさを改めて考えました。

市遺族会会長の原本文隆さんは、「戦争を知らない世代が増えている今、私たちが身を持って体験した悲惨な戦争の教訓をしっかりと心に刻み、全ての人が平和で心豊かに暮らせる世界となるよう、努力をしていきたい」と話しました。

式典では、遺族会や相良保育園の園児たちが祭壇に献灯や献花を行い、出席者らは戦没者の冥福を祈り、不戦を新たに誓いました。

**日頃の訓練の成果を競い合う**

■静岡サーフカーニバル2018 in さがらサンビーチ

5月6日、さがらサンビーチで「静岡サーフカーニバル2018」が開催されました。

この大会は、夏季海水浴場の監視活動に向け、ライフセーバーが日頃の訓練の成果と課題を把握することや、チームワークや連携の強化を目的として開催されています。

選手たちは3人1チームで、ボードリレー、スキーリレー、タップリンリレーなど、実際の水難救助訓練を想定した競技を行い、技能や体力、スピードを競い合っていました。



スタートの合図とともに一斉に海に向かう選手たち



起震車の揺れに素早く机の下にもぐる園児たち

**地震が発生しても冷静に素早く行動**

■地震体験学習

みのり幼稚園で5月2日、地震体験学習が行われ、園児が起震車の揺れを体験しました。

この学習は、市の防災課職員が起震車を操作し、実際の震度5強から震度7の揺れを園児らに体験してもらい、地震発生時の対応を学んでもらおうと毎年行われています。

森川道晃園長は「実際の地震発生時に、園児たちがパニックを起こさないように、素早く机の下にもぐることや頭を守るなどの大切さを肌で感じてほしい」と話しました。